

【こどもの居場所と出番の拡充】

（知事のコメント）

労福協におかれましては、フードバンク等のご協力本当にありがとうございます。

こどもの居場所については、アドバイザーの派遣やセミナーの実施、「こども食堂・未来応援基金」を通じて、居場所の立ち上げと継続的な運営の両面から支援をしております。

意思決定機関に子ども達が参加できる仕組みといたしまして、「埼玉県児童福祉審議会」では令和7年度から審議会委員として新たに「こども・若者枠」を設置しました。児童福祉審議会以外でもこども・若者委員の登用が行われるよう、取り組んでいるところです。

また、こどもの意見をこども施策に反映させるため、「さいたまけん★こどものこえ」、「埼玉県こども会議」、「こども意見箱」など、子どもたちから意見を聴く取組を様々な手法で推進しています。

さらには、県政サポーター制度やバーチャルユースセンターのプログラムなど、様々な手段を通じて若者の声も把握をし、県政に反映してまいります。

こどもの居場所を地域で支える「地域ネットワーク」につきましては、県が作成をした「地域ネットワーク設立スタートブック」を活用するなど、地域ネットワークの活動について周知をするとともに、こどもの居場所づくりコーディネーターの配置については、国庫補助の財源を活用して推進するよう市町村に働きかけてまいります。